

看護教育特論

[講義] 1年・2年 選択 30時間 2単位

《担当者名》○福井 純子 [sfukui@hoku-iryo-u.ac.jp]
 桑原 ゆみ [yumi-k@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

看護教育の目的は、個人・家族および集団の最適な健康状態を目指し、社会のニーズの変化に対応しつつ、看護の対象にとってその時代の最良の看護を提供できる専門職業人を育成することである。

本講では、看護を提供する看護職を育成する看護基礎教育、継続教育の制度およびその変遷を理解した上で、現在の看護教育の課題と今後のあり方について考察する。また、成人学習への支援、並びに看護職が担う患者教育の概要を理解し、効果的な教育の方法を探究する。

【学修目標】

1. 看護基礎教育と継続教育の制度およびその変遷について理解し、これらの接続を含めた現在の課題を考察する。更に、今後の社会の変化を想定して、これからの看護教育のあり方について検討できる。
2. 看護教育における成人学習と患者教育について概要を理解し、その重要性を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	0) ガイダンス 1) 学習と教育 2) 看護教育制度	看護における学習と教育 看護教育の構造 看護教育制度と変遷	福井
3) 4	看護基礎教育	看護基礎教育の教育内容と基礎教育で身に着ける力 看護基礎教育と継続教育の接続	福井
5) 6	看護継続教育	看護継続教育の仕組み 看護継続教育における現状と課題	福井
7) 8	看護継続教育	看護教育とキャリア開発 看護教育の今後の展望	福井
9) 10	成人学習	成人学習の目的と対象の理解 アンドラゴジーの考え方とプロセス	桑原
11) 12	成人学習	成人学習への支援 成人学習に関する事例検討と研究クリティーク	桑原
13) 14	患者教育	患者教育とは何か？ 患者教育のプロセスとポイント 患者と協力し合うために	桑原
15	患者教育	個別の患者教育の計画・実施・評価 集団の患者教育の計画・実施・評価	桑原

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

課題への取り組みとプレゼンテーション（40%）、ディスカッションへの参加状況（30%）、レポート（30%）を総合評価する。

【参考書】

佐伯胖 (1975) . 「学び」の構造 . 東洋館出版社 .

小山真理子編 (2003) . 看護教育の原理と歴史 . 医学書院 .

松尾睦 (2011) . 「経験学習」入門 . ダイヤモンド社 .

目黒悟 (2016) . 教えることの基本となるもの 「看護」と「教育」の同形性 . メヂカルフレンド社 .

三浦友理子 , 奥裕美 (2020) . 臨床判断ティーチングメソッド . 医学書院 .

Knowles M. (1980). The modern practice of adult education: from pedagogy to andragogy, Revised and updated. Cambridge adult education.

その他、授業内で提示する。

【学修の準備】

提示する事前課題について、授業内で受講生間で効果的なディスカッションが出来るようにプレゼンテーションの準備をして臨むこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。